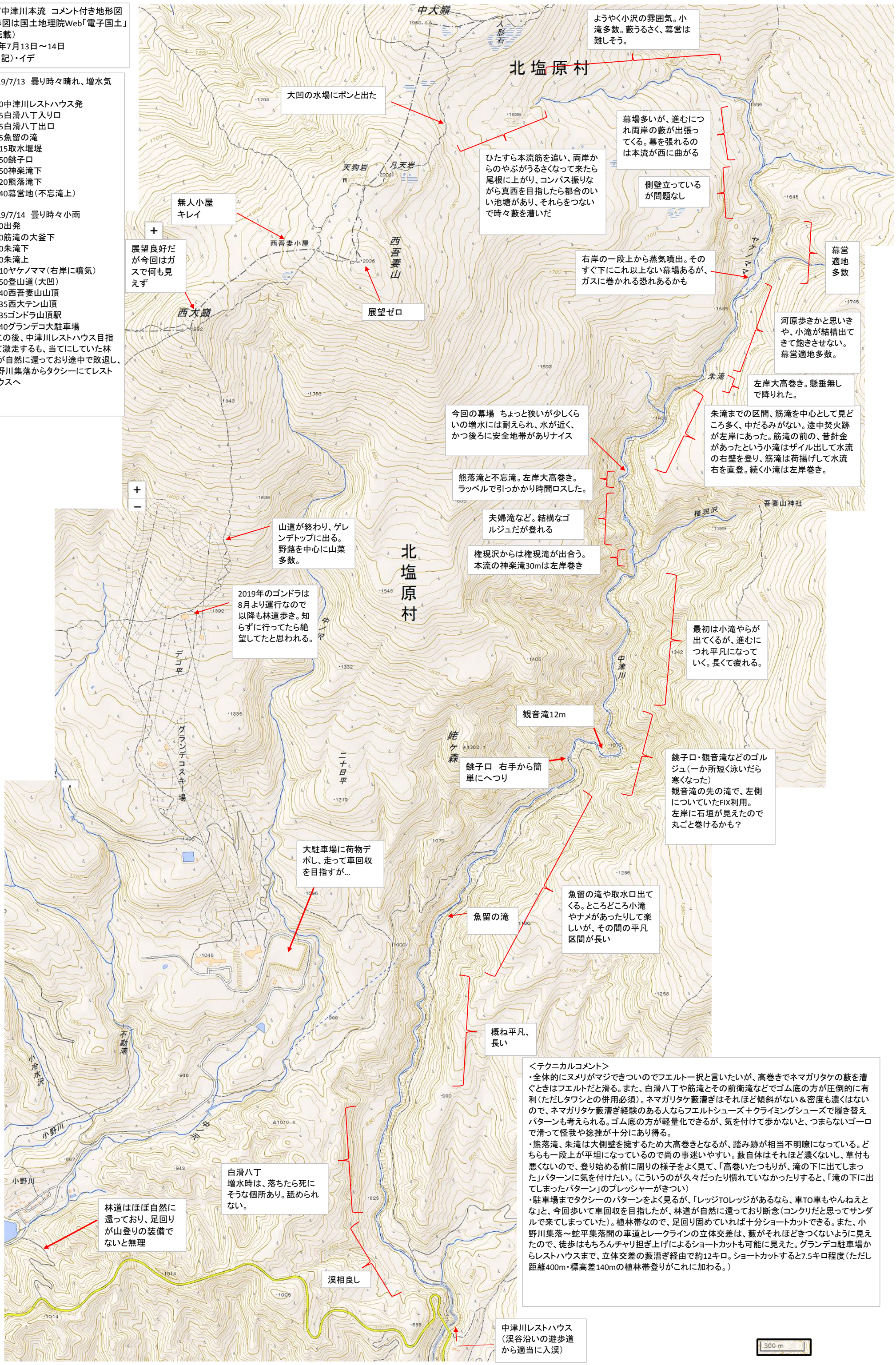
吾妻/中津川本流　コメント付き地形図
（地形図は国土地理院Web「電子国土」より転載）
2019年7月13日～14日
ナベ（記）・イデ

2019/7/13　曇り時々晴れ、増水気味
7:00中津川レストハウス発
7:35白滑八丁入り口
8:35白滑八丁出口
9:25魚留の滝
10:15取水堰堤
10:50銚子口
13:50神楽滝下
15:20熊落滝下
16:40幕営地（不忘滝上）

2019/7/14　曇り時々小雨
6:30出発
7:00筋滝の大釜下
8:10朱滝下
9:20朱滝上
10:10ヤケノママ（右岸に噴気）
12:50登山道（大凹）
13:40西吾妻山山頂
14:35西大テン山頂
15:35ゴンドラ山頂駅
16:40グランデコ大駐車場
→この後、中津川レストハウス目指して激走するも、当てにしていた林道が自然に還っており途中で敗退し、小野川集落からタクシーにてレストハウスへ



＜テクニカルコメント＞
・全体的にヌメリがマジできついのでフエルトー択と言いたいが、高巻きでネマガリタケの藪を漕ぐときはフエルトだと滑る。また、白滑八丁や筋滝とその前衛滝などでゴム底の方が圧倒的に有利（ただしタワシとの併用必須）。ネマガリタケ藪漕ぎはそれほど傾斜がない＆密度も濃くはないので、ネマガリタケ藪漕ぎ経験のある人ならフエルトシューズ＋クライミングシューズで履き替えパターンも考えられる。ゴム底の方が軽量化できるが、気を付けて歩かないと、つまらないゴーロで滑って怪我や捻挫が十分にあり得る。
・熊落滝、朱滝は大側壁を擁するため大高巻きとなるが、踏み跡が相当不明瞭になっている。どちらも一段上が平坦になっているので尚の事迷いやすい。藪自体はそれほど濃くないし、草付も悪くないので、登り始める前に周りの様子をよく見て、「高巻いたつもりが、滝の下に出てしまった」パターンに気を付けたい。（こういうのが久々だったり慣れていなかったりすると、「滝の下に出てしまったパターン」のプレッシャーがきつい）
・駐車場までタクシーのパターンをよく見るが、「レッジTOレッジがあるなら、車TO車もやんねえとな」と、今回歩いて車回収を目指したが、林道が自然に還っており断念（コンクリだと思ってサンダルで来てしまっていた）。植林帯なので、足回り固めていれば十分ショートカットできる。また、小野川集落～蛇平集落間の車道とレークラインの立体交差は、藪がそれほどきつくないように見えたので、徒歩はもちろんチャリ担ぎ上げによるショートカットも可能に見えた。グランデコ駐車場からレストハウスまで、立体交差の藪漕ぎ経由で約12キロ。ショートカットすると7.5キロ程度（ただし距離400m・標高差140mの植林帯登りがこれに加わる。）